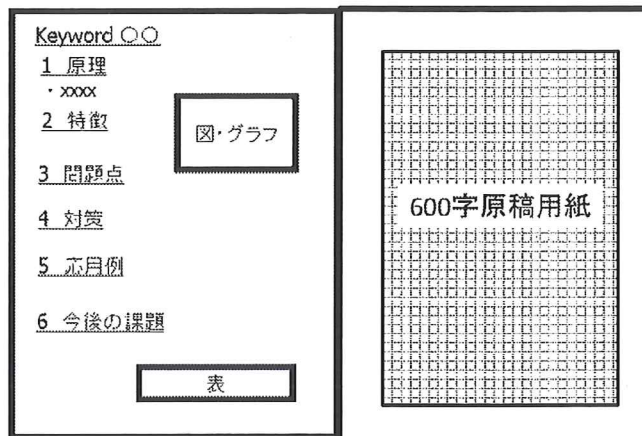


1.3 クリアファイルを使うキーワード集の作り方

- ◇ A4一枚にキーワードをパソコンでまとめる
- ◇ A4のテンプレートをあらかじめ作っておく
- ◇ クリアファイルの左側にキーワード、右側に600字手書きを入れる

A4一枚のキーワード
を入れる

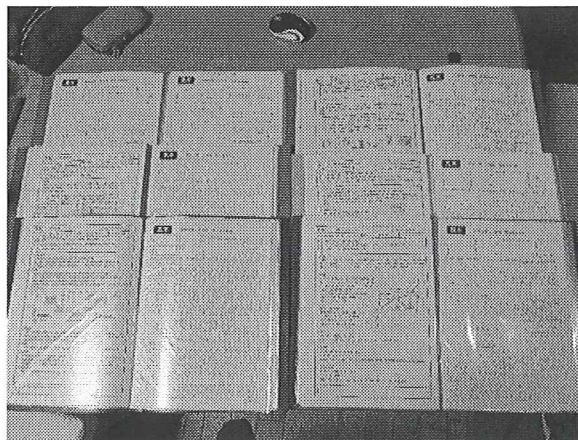
手書きの600字原稿
用紙を入れる。



見開き

クリアファイルで作るキーワード集

600字原稿用紙は、本番と同じ縦横文字数のものをコピーしておく。(添削用の回答用紙をコピーする)



クリアファイル の写真

1.3 クリアファイルを使うキーワード集の作り方

「はじめに」で述べた通り、本書では技術用語をA4で一枚にまとめたものをキーワードと呼ぶ。A4一枚にまとめる内容は、**1. 原理、2. 特徴(3件)、3. 問題点(3件)、4. 対策、5. 応用例、6. 今後の課題**である。この時に、特徴や問題点を**3件ピックアップしておくことが大事**である。その理由として、設問の多くに、「～について特徴や課題を3件挙げ、その一つについて詳細に述べよ」という形式が多く用いられているからである。

A4一枚に簡潔にまとめることが重要であり、必ず図やグラフ、表を付ける。こうして作ったA4一枚のキーワードは、クリアファイルの見開きで左側に入れる。右側はこのキーワードを説明する手書きの600字の原稿用紙を後で入れる。始めはクリアファイル1冊(20ポケット)からスタートすれば良い。キーワードが20件に達したら、次の1冊を加えて徐々に関連する技術分野毎に整理して分ければよい。20件×5分野(ファイル)で最終的に100件になる。

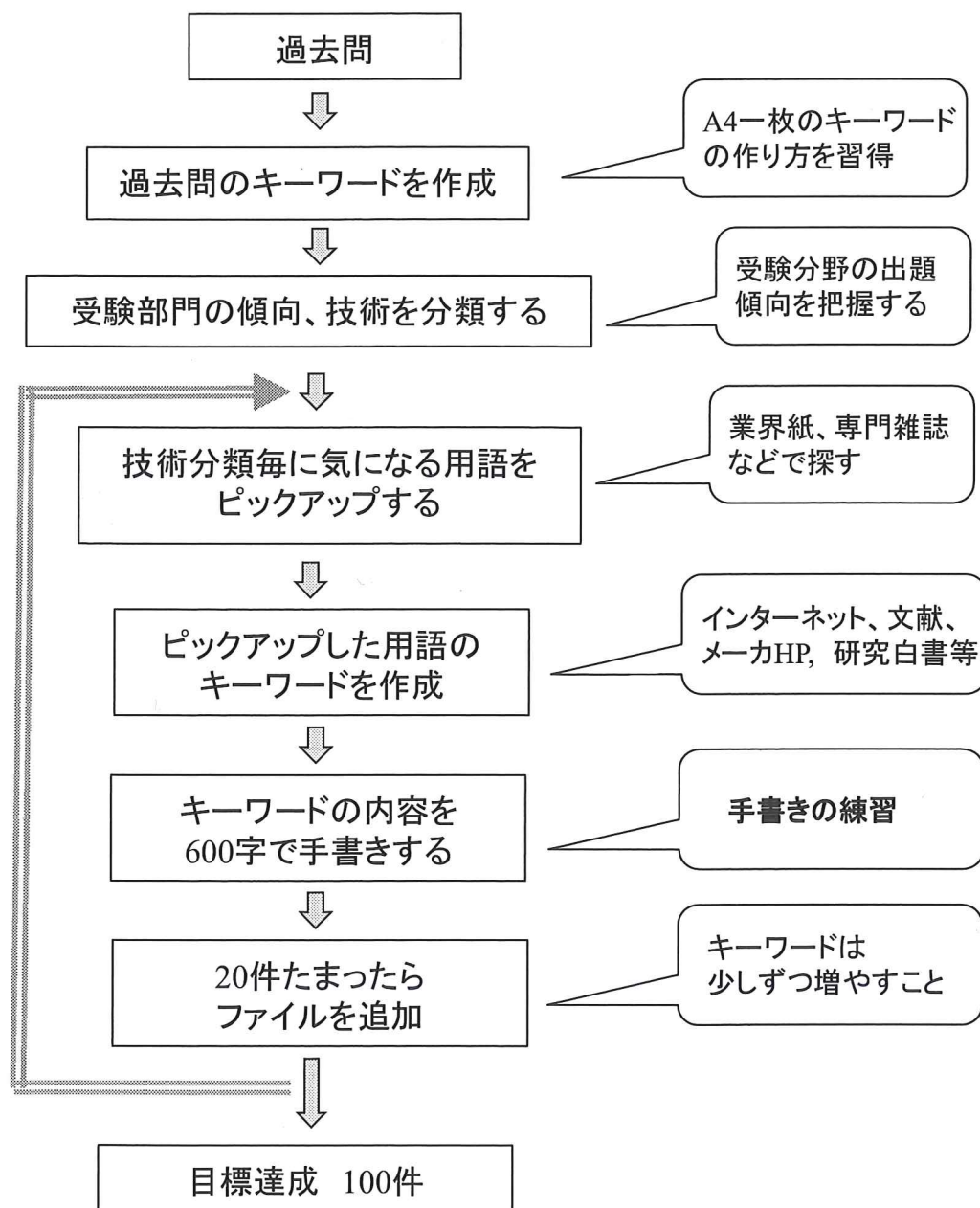
私が受講したスクーリングでは、キーワード集はノートを見開きにして左側に手書きで書くと良いと指導された。左側に上記の1.原理、2.特徴(3件)、3.問題点(3件)、4.対策、5.応用例、6.今後の課題を書くのである。右側を空けるのは、後で追加情報を加えることが出来るため、同時に手書きで書く練習にもなるとのことであった。私は指導された方法を行わなかった。私は字が下手で自分で書いた文字が読めないことも時々ある。手書きでまとめる自信が全く無く、パソコンの作業の記入のほうがむしろ早い。そこでいつも会社で使い慣れているパワーポイントでA4縦書きにする方法を採用した。**1. 原理、2. 特徴、3. 問題点などを初めから入れたテンプレートを作った。**自分にとって、手書きよりも効率が良く、後で追加や修正も楽である。キーワードの枚数は段々と増えていくので、増えた後に分類し直せる。手書きのノートだと順番が固定されるので(ルーズリーフなら固定されない)、パソコンで作業しクリアファイルにまとめるほうが修正もしやすい。

各キーワードの内容をもとに、手書きで600字原稿用紙にその内容を1枚問題の解答論文として記載した。これが手書きの訓練、簡潔な文書作成の訓練になる。手書きした600字原稿用紙は、クリアファイルの右側に入れるのである。こうすると、キーワードとそれをもとにした600字手書き論文が左右に並ぶ。

キーワード集を作る過程で、**①情報の収集、②A4一枚のキーワードまとめ、③600字手書き原稿用紙への記載というステップを踏む**のである。この方法は情報の収集と、それをもとに手書きでまとめる訓練になる点の特徴である。

1.4 キーワードのネタ集めの方法

- ◇ 始めに過去問の技術用語はキーワードとしてまとめる
- ◇ 過去問の分類から、自分が気になった技術用語を追加していく
- ◇ インターネット、文献、業界紙、専門雑誌などで最近の用語を集める



1.9 キーワードから作る手書き文書（実例）No.1 600字手書き

- ◇ キーワードでは表にしなかったが、手書きでは表でまとめた
- ◇ 手書きでは、何回も書き直したり、後で追記をしてもよい。
- ◇ 技術の世代比較のようなものは、表でまとめると全体で覚えられる

1. LTEとは

LTE (Long Term Evolution) は 3.9G と呼ばれる最近の携帯電話の通信規格である。W-CDMA を標準化した団体 3GPP が リリース 8 として仕換化した。

2. 特徴

表 1

世代	3G	3.9G	4G
方式	W-CDMA CDMA 2000	LTE	未定
制御	回線交換 / TDD	パケット	パケット
伝送	TDM	OFDM	OFDM
多重化	FDMA	SC-FDMA	OFDMA
変調	QPSK	QAM	QAM
速度	3.1Mbps	3.1Mbps	100Mbps

・表 1 に 3G と 4G, A の比較。LTE (3.9G) を比較。

・LTE は 4G の MIMO や OFDMA の技術を取った。

・4G に近い高速データ通信が可能となる。

2.2 採用技術

- ・下りに OFDMA、上りに SC-FDMA の FDM 方式
- ・MIMO を使用し、高スループット、低遅延を実現
- ・OFDM はサブキャリア間を直交し帯域を有効利用
- ・LTE のミニセル長距離、マルチパスに強い
- ・GI に CP サイクリック フレームワークを採用

3. 課題

- ・OFDM は PAR が高く大振幅時の SNR が低下する。

4. 今後の展望

各国の主要キャリアは LTE の採用を表明していった。

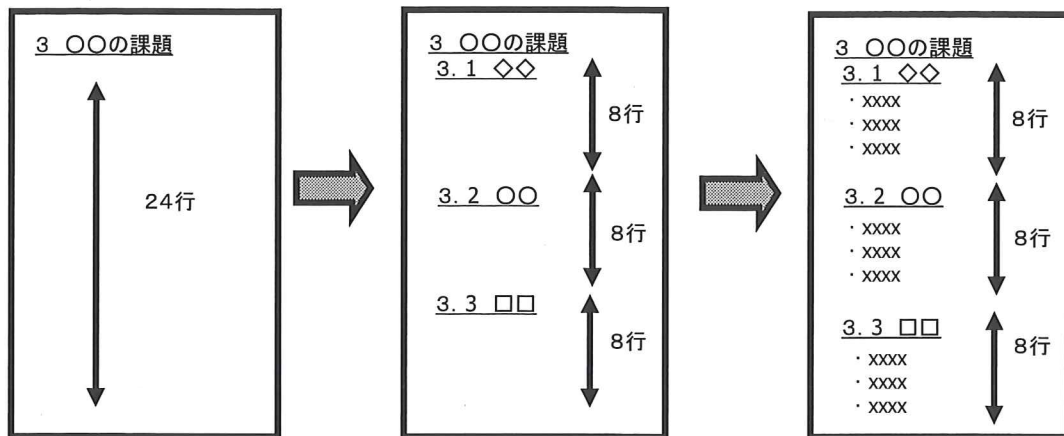
LTE のサービス開始により、移動端末に 100Mbps の高速の次世代に向けて開発が加速されることが期待される。以上

(E50822-18)

24字×25字

2.3 レイアウトとページ3分割法

- ◇ 600文字原稿でも一枚24行を全て書くのは負担である
- ◇ 一枚を3分割すると、一項目あたり8行になる。
- ◇ 8行に3項目書くとすると、2行ずつ書けば良い。



設問の多くが、原理・特徴を3つ挙げる、対策案の記載などで、ページを分割することが必要になる。そこで3分割程度にすると、1分割で書く量は限定される。



書く量が少なくなることで、精神的に楽になる

後で内容の追加も出来る

修正はその部分だけでよい

図を入れると、更に書く量は少なくなる